

【担当者名】 高橋由紀 t-yuki@hoku-iryo-u.ac.jp 池森康裕 下山美由紀

【概要】

高齢者・障がい児者が住み慣れた地域社会で生活するために、多様な在宅福祉サービスを理解するとともに、利用者のニーズについて理解する。

【学修目標】

1. 高齢者・障がい児者が安心して地域で生活するために、高齢者・障がい児者個人の生活ニーズが理解できる。
2. 環境が利用者に与える影響と、その効果について理解できる。
3. 高齢者・障がい児者の在宅福祉サービスにおける現状と課題が理解できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	実習課題の共有化	前回の実習でのジレンマ体験をもとに各自の問題意識を明確化する 個人票を作成する	高橋 池森 下山
2	実習先の理解	認知症高齢者グループホーム等の機能と役割を理解する	高橋 池森 下山
3	実習先の理解	小規模多機能型居宅介護等の機能と役割を理解する	高橋 池森 下山
4	実習準備	実習課題を作成する 課題を達成するための事前学習を行う	高橋 池森 下山
5	リスクマネジメント	リスクマネジメントを理解する	高橋 池森 下山
6	実習の留意事項と学習について	実習中の留意事項と学習について (記録物の共有と記入時の確認) 必要物品配布	高橋 池森 下山
7	事前訪問	実習先訪問	高橋 池森 下山
8	事前訪問	実習先訪問	高橋 池森 下山
9	実習の振り返り	実習の振り返りと記録物の整理をする	高橋 池森 下山
10	実習の振り返り	実習の振り返りと記録物の整理をする	高橋 池森 下山
11	実習の振り返り	実習の振り返りと記録物の整理をする	高橋 池森 下山
12	実習の振り返り	実習報告会準備 報告書を作成する	高橋 池森 下山
13	実習の振り返り	実習報告会準備 報告書を作成する	高橋 池森 下山
14	実習報告会	介護実習 実習報告会	高橋 池森 下山
15	実習報告会	介護実習 実習報告会	高橋 池森 下山

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習事前・事後学習、提出物の有無40% 実習報告会の取組み30% 実習報告書30%とする。

なお、評価に関しては複数の実習担当者の合議により行う。

【教科書】

特に使用しない

【参考書】

介護福祉士養成講座編集委員会(編):最新・介護福祉士養成講座10『介護総合演習・介護実習 第2版』中央法規 2022

【備考】

介護福祉士国家試験受験資格取得のための領域「介護」の教育内容「介護総合演習」に該当する。

【学修の準備】

高齢者に多い疾病や認知症、障がいについて調べて理解を深めておくこと（復習1時間）

実習を行う施設や地域についてインターネットにて調べておくこと（予習30分）

報告書・報告会に向け、文献を調べ読んでおくこと（復習1時間）

教材のVR映像を視聴して、在宅生活をイメージすること（予習1時間）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2.福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1.人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP3.社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門職領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている

DP4.保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている

【その他】

この科目は、介護福祉士国家試験受験資格取得のための領域「介護」の教育内容「介護総合演習」に該当する。

【実務経験】

高橋由紀（介護福祉士） 池森康裕（介護福祉士） 下山美由紀（看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床および地域での介護・看護分野の専門職としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。